



特集

人材育成を

ネットワーク化する

「病院から在宅へ」という流れが明確になった今、訪問看護師不足が喫緊の課題となっています。

しかし、すでに慢性的な人手不足に悩む現場において、

ステーションが個別に人材育成を行なうには限界がある、という声も聞かれます。

教育的な関わりをする余裕がステーションに十分になれば、新人訪問看護師の不安も高まり、

モチベーションの低下から離職へ、そしてふたたび人手不足に……という悪循環が起こりかねません。

一方で、複数の組織で協働し、訪問看護師育成に取り組む試みが各地で始まっています。

現場はもちろん、大学や業界団体、行政などがタッグを組んで、組織的に人材育成を行なおうとするものです。

そのようなネットワークのなかでは、敬遠されがちだった新卒での採用・育成にも、前向きに取り組んでいけるよう、

育成する側も、される側も孤独にしない、「つながって育てる」方法をご紹介します。